

国東中央公民館だより

発行 国東中央公民館 岐部

求められる公民館活動を目指して！公民館活動の活性化を

猛暑が例年になく続いた中でも、各地区公民館や女性学級等で様々な工夫を凝らした取り組みや講座が年間計画にそって開催されました。講座を通して健康安全・環境・人権・交流等各地域の課題解決の糸口や人材育成にも繋がる内容が求められています。その取り組みの一部を紹介し、今後の活動の進展や交流に繋がりたいと考えます。

鬼塚大学(旭日地区)

<□ 交流を広める講座づくり>

「一心ギターライブ in Asahi」



12月15日の鬼塚学級は、文化祭と合同開催しました。朝早くから多くの方が公民館に集まり、バザーや

「あさひマルシェ」で石垣もちや朝採り野菜などの買い物や食事を楽しんでいました。10時からは大学の講座が始まり、桑本宅二さんによるホークライブコンサートに50名以上の参加者が、すばらしい歌声とギターに酔いしていました。

郷和大学(国東地区)

ふれあい「まちウォーキング」

10月14日に、市が作成した「鶴川探訪マップ」を活用して各ポイントを探してまわり、クイズに答えるウォーキングを実施しました。百名を超える参加者が、グループに分かれてスター



トし、ポイントではお接待方式でおやつをもらうことが出来るなど、地域再発見と健康づくりを兼ねた取り組みでした。ポイントでは歴史を学習した地域のボランティアの方々が、史跡の説明とクイズを出題して地域の魅力を発信してくれました。

<□ 高齢者を守る講座の継続>

豊泉大学(豊崎地区)・荒溪大学(上国崎地区)

「特殊詐欺と交通講話」

荒溪大学は7月5日、豊泉大学は12月13日に河野国東警察署員による講座を開催しました。今年、県内でも12月までに16億円の被害が生じており、多発する金融商品詐欺やロマンス詐欺等の手口や対策について学習しました。



さらに、豊泉では11月より改正された道路交通法の内容も学習しました。特に自転車での酒気帯びやスマホ運転など罰則が強化されました。

高齢者にとって身近な課題は、定期的に講座に取り入れていく必要があります。

<□ 楽しく学べる人権学習>

文溪大学(富来地区)・郷和大学(国東地区)

差別の歴史と腹話術

郷和は8月に、文溪は9月に財前俊弘県人権講師を招いて、「百姓と同じを求めて」のテーマもと杵築藩で起きた「浅黄半襟逃散一揆」の歴史を学習しました。差別に立ち上がった人々の絆や差別への偏見をこの一揆を通して学び、未

だに現存する部落差別の解消に向けた人権学習講座でした。その後は、安岐町の小野幸夫さんによる腹話術の名演技に、会場からは笑いと盛大な拍手が送られました。



徠溪大学(来浦地区)

落語と人権学習

10月17日の徠溪では、若手落語家の春風亭柳枝さんを特別ゲストにお招きして、口演家矢野大和さんの「必要とされる喜び」をテーマに人権の基本を学びました。人間関係はまず相手を肯定することや、相手の話に頷くことの大切さなど楽しい話題を通して口演され



ました。後半は柳枝さんが登場！あの有名な古典落語「目黒のさんま」を演じてくれました。この

漸を通して、上に立つ人のあり方や余裕のある人は悪口を言わないなど、人権の基本も学習できた落語に会場からは大きな拍手が送られました。

女性学級

◆「生き生き過ごすコツ」

9月27日(金)の学習会では、市民健康課の井上史乃さんを講師に招き、フレイル予防を兼ねて高齢者の健康講話について学習をしました。市が進める健康づくり計画や歯の大切さ、さらに脳を使う(新しいことにチャレンジ)ことの大切さなど、今から取り組める内容を具体的に学びました。

◆「みんなで楽しく歌いましょう！」

講師の「トリオ・虹」の皆さんは、藤原さん、馬場さん、豊田さんの3人グループです。秋の季節に合わせた曲を多く演奏され、会場に来られた学級生と共に合唱もありました。また、

作者の紹介や曲に込められた願いも学習できました

社会探訪研修

◇鬼塚大学～臼杵研修

11月18日に臼杵の歴史資料館とフンドーキン醤油工場で研修。特に臼杵歴史資料館では、大友宗麟と立花家との繋がりを紹介する特別展の企画がありました。柳川城主として有名な立花宗茂の祖は吉弘氏であり、国東市との強い繋がりを学習できました。また醤油工場も、各地の銘柄醤油をこの工場で作っているそうです。

◇豊泉・徠溪大学～中津・宇佐研修

11月20日は豊泉、21日の徠溪は中津・宇佐に向かい、国東とゆかりのある偉人や史跡を含んだ研修として中津の黒田官兵衛資料館や歴史資料館、午後は宇佐平和資料館等を訪れました。今後の活動に役立つことを願っています。

◇女性学級～安岐・大分探訪研修

11月29日に安岐町の田原淳旧宅を訪れ、ペーサーメーカーの祖と言われる田原の生家でその功績を学習しました。その後大分市美術館や南蛮BVNGO 交流館を訪問し、南蛮文化を日本にもたらした偉大な功績を学びました。

高齢者学級臨時講座の開催

今回は国見町以外の各地区館からも参加者を募り、国見町で活躍する光電と竹田津地区公民館の取組を12月6日に研修しました。

○光電～日立と共同開発したスーパーリントイレは全国市場の7割を占め、全国から注目されている企業



です。他にも分電盤や旋回窓など生産する会社の先進的な技術力に、参加者一同感嘆しました。

○竹田津地区公民館～いち早く立ち上げた「くらしのサポートセンターかもめ」の取り組みや多世代交流竹田津公民館祭など、すばらしい実践を学習できました。

